

## 横浜防災フェア2019

### ～神奈川地方協力本部のキャラクター「たま」も広報に活躍！～

自衛隊神奈川地方協力本部横浜中央募集案内所（所長 平原一陸尉）は、8月24日（土）・25日（日）の両日、横浜赤レンガ倉庫イベント広場で実施された「横浜防災フェア2019」に参加した。この行事は、「防災・減災知識の普及・啓発、自衛隊による防災力の強化を図る」という目的で毎年実施されているもので、横浜市から依頼を受けて参加したものである。当日は陸上自衛隊第31普通科連隊（武山）から高機動車、11/2t救急車、偵察用オートバイの支援を受け募集広報に臨み、その他にも防災写真パネル展示、自衛官等制度説明、募集アンケート等を行った。気温36度と炎天下の中で、隊員は汗だくになりながら、展示品の説明や希望者へ制度説明などを行った。また神奈川地方協力本部キャラクターの「たま」も広報活動に参加し、自衛隊ブース付近に集まった多くの子供たちからの握手や親からの写真撮影などの求めに応じ、会場を大いに盛り上げた。その他戦闘糧食の展示コーナーでは、来場者から「美味しいですか」「どういう時に食べるのですか」などの質問を受け、隊員が自分の経験を元に丁寧に答えていた。

横浜中央募集案内所は、「今後このような地域イベントに積極的に参加し、適齢者情報の獲得に努め、募集成果につないでいきたい」としている。



## 建設フェスタで自衛隊をPR

自衛隊神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 野田3海佐）は8月25日（日）、厚木市で開催された「建設フェスタ2019 in あつぎ」において、陸上自衛隊第4施設群の支援と隊友会県央支部及び家族会海老名・綾瀬地区会会員の協力を得て、自衛隊をPRした。

当日は30度を超える厳しい暑さではあったが、夏休み最後の日曜日ということもあり、会場は多くの家族連れでにぎわった。

自衛隊ブースでは、第4施設群の道路障害作業車と偵察用オートバイを展示するとともに、ミニ迷彩服試着コーナーを開設した。迷彩服を試着して記念撮影をした子供には、海上自衛隊装備品の写真や厚木募集案内所がオリジナルに作製した缶バッジがプレゼントされるとあって、希望者が長蛇の列を作った盛況であった。

また、陸上自衛隊施設科のPKO活動を紹介したパネルを見た来場者からは「自衛隊にも建設に携わる仕事があるということがわかりました」「国外でも活躍の場があるのですね」などの感想を聞くことができた。

厚木募集案内所は、「今後も地域のイベントを通じて自衛隊の活動や魅力を積極的にPRし、募集広報や防衛基盤の拡充に努めていく」としている。



偵察用オートバイに乗り記念撮影をする来場者（厚木中央公園）